

レッズ新聞

No.003

全国初戦突破ならず・・・

八月六 八日に東京都江戸川区で開かれた「第十回全日本女子軟式野球選手権大会」に三年連続で出場した広島レッズは、一回戦で全日本代表投手が所属する石川県代表のダライズと対戦。最終回でレッズらしい攻撃が光ったものの4 8で破れ、三年連続の初戦突破が果たせなかった。

大会は三十二チームによるトーナメント戦で競った。レッズは松島が先発。二回まで3奪三振と好投を見せたが三回表、一死から失策や3長短打で4点を失い、六回表にも3点を取られた。一死三塁から継投した岡は無失点に抑えた。

7点を追う広島レッズは最終回の六回裏、生谷が四球で出て反撃開始。一盗と失策で一死三塁になり、二井による中堅前の適時打で1点を返した。さらに二盗・敵矢と松島の四球・二盗で一死二、三塁から阪本の中堅前適時打で2点を加え、4点差に追いついたが力尽きた。

優勝は愛知県代表の愛知アドバンス、準優勝は千葉県代表の千葉マリンスターズだった。広島レッズのメンバーは八月下旬から体力強化と実戦を主体に練習を再開。来夏に向けて動き始めた。

石川 0 1 4 0 0 3
 広島 0 0 0 1 0 3
 4 8

試合前半は、緊張からかいつもものレッズらしさが見え、やきもきしましたが、後半はレッズらしさが出たのではないのでしょうか。今年は初戦敗退でしたが、試合後の選手たちには、昨年のような悔し涙だけではなく、手応えを感じたような表情も多く見られた気がします。得たものを自分のものにするかどうかは、これからの自分次第です。みんな野球が好きで集まったメンバーです。夢を実現させる為に頑張ってください。今回の全国大会にあたり応援いただいた皆様に御礼申し上げます。選手達は、仕事や学業に励みながらも限られた時間の中で練習を重ねています。今後とも層頑張ってくれることと思いますので、これからも引き続き応援いただきますようお願い申し上げます。

(吉田代表)

【全国大会で得たもの】

監督として初めて参戦した今大会だが、選手をひとつにしようと力んだ感があつた。何を一番に考えれば良いか、何が得策か色々悩んだが、終わってみればもつと選手を信頼し、自由にプレーさせてやれば良かったと思う。監督としての振る舞いや、選手への的確な指示等、指揮官としての勉強が出来た事が一番の収穫だ。私も選手達に育てられていることを実感した。また新たな気持ちでスタートしようと思う。

(前川監督)

はっきり言って得たものは、メンバーの皆さんのやる気です。それを信じて私も一年頑張りますよ。

(鶴田コーチ)

(水草コーチ)

メンバー募集中！！

私達と一緒に野球をしませんか？
 野球・ソフトボール経験者大歓迎！
 ご連絡お待ちしております！
 (毎週土曜午後5時に五月が丘で練習中！)

連絡先

0824-63-0731 (FAX 兼)

メール

baseball_21jp@yahoo.co.jp

ホームページ

http://www.7a.biglobe.ne.jp/

^hiroshima_reds

8月6日・開会式前スタンドにて。

広島の方角に黙祷を捧げるレッズ一団。



先発の松島選手



【ご支援ありがとうございました。】 アイ・デックスコーポレーション 中国鉄管継手(株) 祇園体協、三次市長 三次市議会議員長 バイレックス 中国新聞備北会 中国新聞サービスセンター 渡辺 義美、石質理江 広島西キリスト教会 山野木千晶、やったぞ二〇〇〇本 野村謙二郎 藤元康之 石川昌義 林淳一郎 坂田一浩 漆原毅 奥田美奈子 金森勝彦 寿山晴彦 中島好 中野理江 二井武雄 観音ハッティングセンター 坂本舞 君田温泉 森の泉 コタマススポーツ 三次ハッティングセンター 己斐上小 PTA バレー部 和泉健 鈴木祐子 高橋則子 己斐上小 白土俊介 校長 己斐上小 高畑芳弘 己斐上小 斉藤丞 黄金山小学校 己斐上給食室 スポーツセンター 廿日市 東田祥子 己斐上小 本庄久子 広島市教育委員会 保健体育課 雨河かつら 平江満和 花原静香 塩谷恵智子 反田美幸 竹舂清士 山根清文 竹舂慶和 反田ミヤ子 竹舂知世 山根アサコ 山根恵美子 朴台鉉 時田澄 松岡貴美子 澤村美穂 片山幸雄 藤澤巖 安田金属(株)本社工場 同 西本 洋美 石橋克明 石橋和子 きのの教室 あいくりック 魚谷啓 西村ルナ トリップ 灘波美和 山本真実 河崎利果 平野美華 石田博章 平口勝久 瀬戸安美 古平浩和 佐藤エミ子 下山智弘 佐竹誠 二田中正則 増田輝治 戸坂ウィングス 松村監督 浜村安博 向殿勝正 木原勝 松本剛志 吉村時彦 新谷利明 伊東雅之 西風五月が丘少年野球クラブ 保護者会 西風五月が丘少年野球クラブスタッフ 同 お好みブライザ和福屋 一真 (敬称略 順不同)

温かいご支援・ご声援 本当にありがとうございました！

強いチームはアウトに出来るものは確実にアウトにしてい
て、野手一人一人がどこに投げるか分かっていて、送球が正
確である。ストライク優先でボールを有効に使っている。ボ
ールが多くても、甘いコースに投げず、コースをちゃんと狙
っている。芯に当てる技術だけじゃなく、身体をうまく使っ
てより遠くへ飛ばす技術もあり、低く強い打球で伸びのある
打球になっている。落ち着いて状況判断が正確に出来ている。
声が常に出ていて、チャンスで必ずものにし、流れを作るブ
レイが生まれている。サインや攻撃では、打順や状況に応じ
て、個人の仕事をきっちり果たし「つなげる攻撃」ができて
いる。（松島）

強豪勢はボール回しひ
とつにおいてもテンポが
良かった。「スキあらば次
の塁を狙う」姿勢も素晴ら
しかったし、守備時は常に
足が動いていて「ミスは1
つ！」で断ち切れていたと
ころが自分達との違いか
なと思った。（山根）

投手に対しての捕手の
リード・配球の仕方の勉強
になった。また、場面ごと
の捕手の指示の仕方など
準決・決勝を見てよく分か
った。瞬時の素早い状況判
断がなくてはリズムが狂
うと思った。（後藤）

試合やシートノック等
の流れの大切さを改めて
感じた。優勝チームはボ
ール回しもキビキビとし
ていたし、チーム一丸とな
っていて楽しそうだった。見
習いたいし、目指したい。
（蒲谷）

全国レベルの試合はス
ピード感あり、元気あり、
笑顔ありで、すごい楽しそ
うだった。ふざけているの
ではなく、盛上げて楽しん
でいる。同じ試合をするな
ら笑顔が出せるくらいの
気持ちで臨みたい。
（石橋）

練習に参加していなか
ったのもあるが、自分に成
長がないのを実感した。精
神的にも技術的にも1年
目と変わらずで、やはり全
国に通用させるには練習
以外で自分の弱点を克服
しなければならない。来年
の全国へ向けて頑張る。
（大山）

全国大会で得たもの



絶対にできるという自信
（生谷）

今回初めての全国大会
で、他のチーム名とか、ど
こが強いとか少し分かっ
た。ピッチャーをして緊張
したけど、良い経験ができ
た。あと、少しだけ自信も
ついた。（岡）

楽しく野球をやらない
と、自分のプレーがごち
なくなる。（阪本）

無心になることの難し
さと無心になった時の
清々しさ（二井）

1試合ライトで守りき
り、打席に立てば自分の役
割を果たすことができる
だけの技術・体力・気持ち
の持ち方。すべてにおいて
努力を要するということが
身に染みて分かった。他
チームの元気さ・リズム・
流れのつかみ方・あきらめ
ない気持ちなども参考と
なった。（塩谷）

最後まであきらめずに
試合を盛上げていく気持
ちがあれば、暗雲の中にも
光が射してくるという事。
全国大会期間を通して、メ
ンバー同士の親睦が少し
でも深まった事。これから
ますます良いチームにな
りそうな予感。（升井）

野球に対するメンバー
の考え方が分かったと同
時に、これまで自分の気持
ちに甘えがあったような
気がした。（矢原）

心機一転、選手一同来年に向けて頑張っています！
これからも広島レッズをよろしくお願いします。